

Lesson 4

学 参 物 を 作 る

Ver.3 対応版

Lesson

4

歴史の参考書を作成する



Point

Lesson4 ではエディタを使用して学参物の作成に必要な各種機能を学びます。

エディタでは様々な MCL コマンド（組版設定機能）が設定でき、学参物などで利用する体裁コマンドを使用できます。

明治維新の改革

明治維新の改革

◎ 日本を近代国家にするため、明治時代の初めに行われた一連の諸改革を学びます。 ◎

次の空欄に入る言葉を補充せよ。

1867 年、①で江戸幕府がたおれると、②の大号令が出され、翌 1868 年、③の御誓文によって新しい政治の方針が示された。



Point! 解答と明治維新の歴史について

明治維新は歴史の中でも近代日本の礎となったものです。幕末はいまだに多くの人々の関心を得ている時代でもあり、試験問題ではよく出題される範囲になります。人物名などやどのような改革がされたのかしっかりと学んでおきましょう。

〔様々な改革〕

1867 年に**大政奉還**で江戸幕府がたおれると、**王政復古**の大号令が出された。その翌年の 1868 年には、**五箇条**の御誓文が出され明治新政府の政治方針が民衆に示された。具体的な改革は**版籍奉還**を行い、さらには**廃藩置県**によって、天皇を中心とする中央集権国家の仕組を築こうとした。また、昔からある古い**身分制度**を廃止し、**四民平等**の政策を布いた。他にも**富国強兵**・**殖産興業**の政策によって、近代的な軍隊を誕生させるとともに、近代産業の育成をはかり、地租改正によって財政の基礎を確立した。

ポイント

江戸時代の武士と百姓（おもに農民）・町人、およびえた・ひにんなどの厳しく差別された人々をおいた制度。

〔近代国家への道と民衆の動き〕

こうした政府の一方面的な改革は民衆に対して反発心を抱かせた。そのため日本各地で、農民一揆や士族の反乱などが相次いだ。そんな中、**明治維新**は 1877（明治 10）年の西南戦争が終わり、やっと完成された。封建制度（**封建制度**）が終わりをつげ、資本主義発展の基礎が築かれ、文明開化が始まり、明治維新は近代日本の礎となった。

ポイント

1864 年ごろの倒幕運動から 1871 年の廃藩置県ごろまでの期間だとする説もある。



スキルアップ！！

→解答は P.302

問 1 明治新政府によって行われた改革の廃藩置県の目的に当てはまるものを、次の a～d から 1 つ選びなさい。

- a 中央集権国家を作るため b 身分制度を廃止するため
- c 文明開化を始めるため d 旧藩主の統治力を強めるため

問 2 下記の①～③に入る言葉をア～イから選びなさい。

軍備を強化する政策を①といい、②歳以上の男子に兵役の義務を負わせた法令、③も出された。

- | | | |
|-----------|---------|---------|
| ア 富国強兵 | ア 20 | ア 徴兵令 |
| ①= イ 文明開化 | ②= イ 30 | ③= イ 学制 |
| ウ 地租改正 | ウ 40 | ウ 屯田兵 |

Step1 問題部分の作成

Step1 では問題部分を作成します。
エディタの基本的な使用方法、MCL コマンドの適用方法などを学びます。

明治維新の改革

◎ 日本を近代国家にするため、明治時代の初めに行われた一連の諸改革を学びます。 ◎

次の空欄に入る言葉を補充せよ。

1867 年、①で江戸幕府がたおれると、②の太政官令が出され、翌 1868 年、③の御誓文によって新しい政治の方針が示された。

Step2 ポイント部分の作成

Step2 ではポイント部分を作成します。
相対野コマンドやレイアウトインラインを学びます。



Point! 解答と明治維新の歴史について

明治維新は歴史の中でも近代日本の礎となったものです。幕末はいまだに多くの人々の関心を得ている時代でもあり、試験問題ではよく出題される範囲になります。人物名などやどのような改革がされたのかしっかりと学んでおきましょう。

Step3 解説部分の作成

Step3 では解説部分を作成します。
割り込み枠コマンドや文字スタイルの設定を学びます。

【様々な改革】

1867 年に太政官令で江戸幕府がたおれると、**王政復古**の太政官令が出された。その翌年の 1868 年には、**五箇条**の御誓文が出され明治新政府の政治方針が民衆に示された。具体的な改革は版籍奉還を行い、さらには廃藩置県によって、天皇を中心とする中央集権国家の仕組みを築こうとした。また、昔からある古い身分制度を廃止し、四民平等の政策を布いた。他にも富国強兵・殖産興業の政策によって、近代的な軍隊を誕生させるとともに、近代産業の育成をはかり、地租改正によって財政の基礎を確立した。

【近代国家への道と民衆の動き】

こうした政府の一方面的な改革は民衆に対して反発心を抱かせた。そのため日本各地で、農民一揆や士族の反乱などが相次いだ。そんな中、明治維新は 1877 (明治 10) 年の西南戦争が終わり、やっと完成された。封建制度(封建)が終わりをつげ、資本主義発展の基礎が築かれ、文明開化が始まり、明治維新は近代日本の礎となった。

ポイント

江戸時代の武士と百姓（おもに農民）・町人、およびえた・ひにんなどの厳しく差別された人々を包摂した制度。

ポイント

1864 年ごろの倒幕運動から 1871 年の廃藩置県ごろまでの期間だとする説もある。

Step4 スキルアップ問題部分の作成

Step4 ではスキルアップ問題部分を作成します。
インラインオブジェクト、振り分けコマンドを学びます。



スキルアップ!!

→解答は P.302

問 1 明治新政府によって行われた改革の廃藩置県の目的に当てはまるものを、次の a～d から 1 つ選びなさい。

- a 中央集権国家を作るため b 身分制度を廃止するため
c 文明開化を始めるため d 旧藩主の統治力を強めるため

問 2 下記の①～③に入る言葉をア～イから選びなさい。

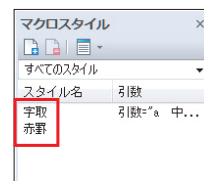
軍備を強化する政策を①といい、②歳以上の男子に兵役の義務を負わせた法令、③も出された。

- | | | |
|-----------|---------|---------|
| ア 富国強兵 | ア 20 | ア 徴兵令 |
| ①= イ 文明開化 | ②= イ 30 | ③= イ 学制 |
| ウ 地租改正 | ウ 40 | ウ 屯田兵 |

Step5 マクロスタイルの作成

Step5 では作成した体裁をマクロスタイルとして登録します。

マクロスタイルの登録、引数の設定方法を学びます。




<M 字取 引数="a 中央集権国家を作るため"><FURI mes=15ji>b 身分制度を廃止するため</FURI>

Step1 問題部分の作成

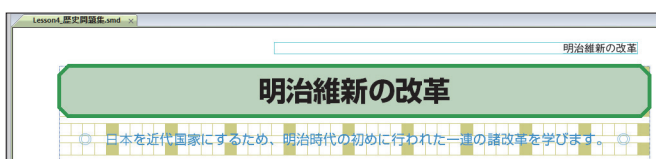
Step1 ではエディタを使用して問題部分の体裁を作成します。ここではエディタの基本的な使用方法、MCL コマンドの適用方法などを学びます。

1 ファイルの準備

- この Lesson で使用するファイルを開きます。 をクリックして【開く】を選び、【Lesson4_V3】フォルダにある【Lesson4_歴史問題 .smd】を選択してファイルを開きます。



- 以下のように 1、2 段落を段落スタイルを使用し、見出しとして作成します。



新規ドキュメントの作成時に設定した内容は【ページ】パレットの【標準マスター】を編集することで変更できます。

1 段落目

基本タブ	スタイル名 大見出し 種類 見出し
文字属性タブ	書体 A-OTF 新ゴPr6 B サイズ 30Q
行設定タブ	文字の揃え 最終行中央揃え
見出し体裁タブ	行取り数・行数指定 3行 行方向の配置 中心 見出し文字を柱文字にする あり
見出し飾りタブ	種類 角丸長方形 サイズ サイズ・深さ共に見出しに合わせる 角の種類 斜め すべて 10Q 線 実線・1mm 緑 100% 塗り 緑 30%

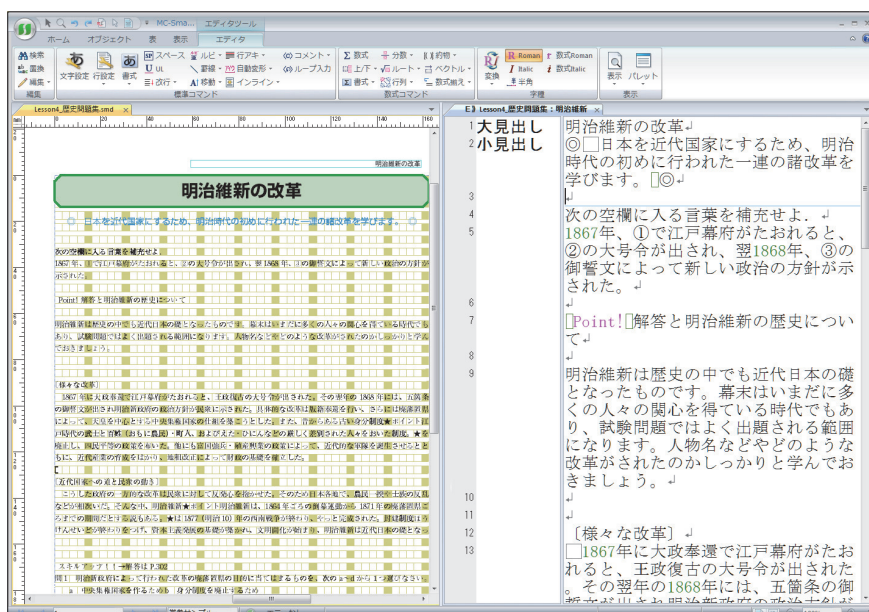
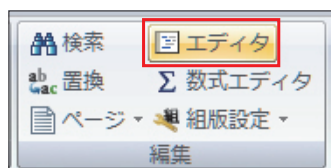
2 段目

基本タブ	スタイル名 小見出し 種類 見出し
文字属性タブ	書体 A-OTF 新ゴPr6R サイズ 15Q カラー シアン
行設定タブ	文字の揃え 最終行中央揃え
見出し体裁タブ	行取り数・行数指定 2行 行方向の配置 中心

- ファイルを任意の名前で別名保存します。

2 エディタを開く

- 1 エディタを開きます。【ホーム】タブ→【編集】→【エディタ】をクリックします。画面上にエディタが表示されます。



MC-Smart では、レイアウト画面だけでなくエディタを使い、編集を行うことができます。レイアウト画面では作成できない体裁がある場合などに利用します。

エディタについて

MC-Smartのエディタでは、テキストベースで体裁指示や文章内容を編集することができます。体裁指示（レイアウト画面で文字に対して行った体裁指示も含む）はMCLコマンドと呼ばれ、エディタ内では青字のタグで表示されます。このMCLコマンドはダイアログを使用して、タグの新規挿入や編集が可能です。エディタは表示ページ部分だけではなく、一連となっているテキスト全体がエディタに表示されます。

エディタ内の表示について

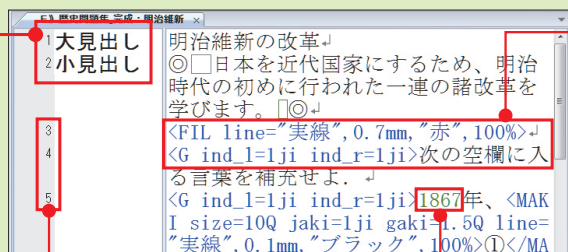
スタイルエリア

段落に適用されている段落スタイル名を表示します。

※【エディタ】タブ→【表示】→【段落スタイル名】でタグ表示に切り替えられます。

段落番号

改行⏎までをひとつの段落として、段落番号を表示します。



MCLコマンド

青字のタグ<~>で表示され、様々な体裁の指示をします。設定は主にダイアログで行います

エディタ表示位置

エディタは【環境設定】→【エディタ】で画面内の上下左右に表示させることができます。

文字種類別の文字表示色

エディタでは使用している文字種類が判別できるように文字の表示色を変えます。

■：通常文字 ■：組版タグ ■：半角文字 ■：ローマン
■：イタリック ■：ルビ ■：3分幅 ■：4分幅…etc

※上記の表示色は【環境設定】→【エディタ】にて変更可能です。

3 MCL コマンド、フィルルーチンの設定

MCL コマンドについて

MCL コマンドは文字単位で様々な体裁を作成することができます。設定された MCL コマンドは、エディタ上では青字のタグ<~>で表示されます。

MCL コマンドは主にはリボンメニューやダイアログを使用して設定しますが、キーボードから直接タグを入力して設定することも可能です。

MCL コマンドのタグについて

設定された MCL コマンドは、以下のようにタグ内にコマンドの名称や設定した内容などが記述されます。コマンドの種類によっては終了のタグが必要になり、タグの付き方も変わります。

エディタ表示 ※罫巻コマンドの例

<MAKI line="実線",0.1mm,"赤",100%>●●●●</MAKI>

MCL コマンドの種類

設定内容

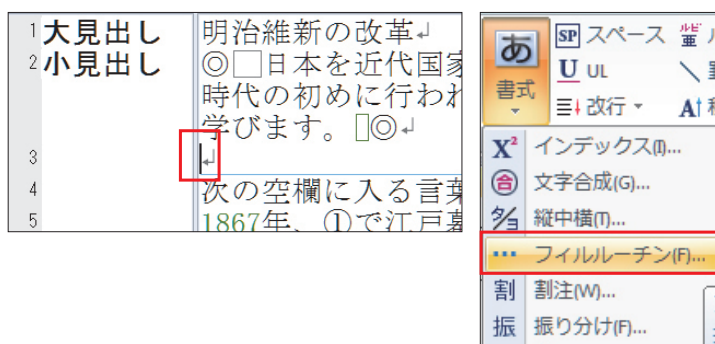
MCL コマンドの種類 (終了タグ)

タグの付き方

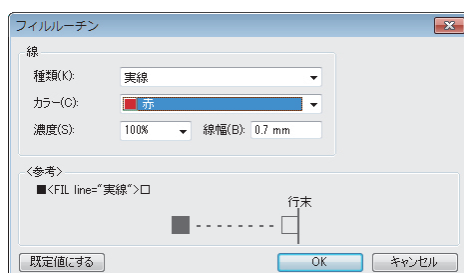
- ①<開始タグ>●●●●</終了タグ> 例：アンダーライン、罫巻など
- ②<開始タグ>●●●●<区切りタグ>●●●●</終了タグ>
例：ルビ、文字合成など
- ③<タグ>●●●● 例：フィルルーチン、改行など

問題部分の前後の赤罫線を作成する

- 1 カーソルを問題文前の段落に置き、【エディタ】タブ→【標準コマンド】→【書式】→【フィルルーチン】をクリックします。



- 2 以下のように設定して【OK】をクリックします。フィルルーチンのコマンドタグが挿入されます。



種類 実線
カラー 赤
線幅 0.7mm

アドバイス



キーボードから直接タグを入力する場合、コマンドを囲う山括弧は以下のキーを押して入力します。

開始：【Ctrl】 + 【Shift】 + <

終了：【Ctrl】 + 【Shift】 + >

アドバイス



エディタ内でマウスを右クリックし、【MCL コマンド設定】からコマンドを一覧から選択する方法もあります。

アドバイス



【フィルルーチン】はレイアウト画面からでも設定が可能です。一部の MCL コマンドはレイアウト、エディタ双方で設定可能です。

アドバイス

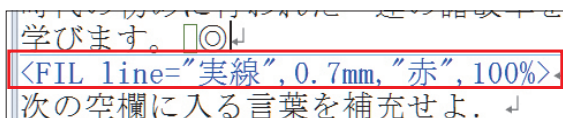


【フィルルーチン】はカーソルを置いた位置からその行の残余スペースに対してリーダー罫や罫線を発生します。目次などで利用することが多いです。

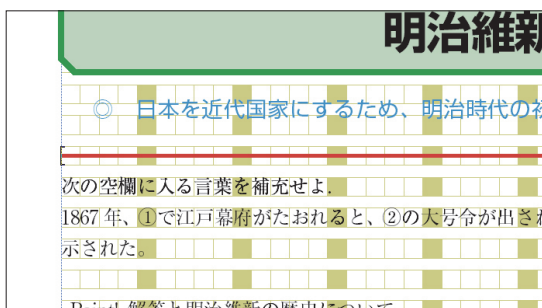
例)

ステップ①……………P.2

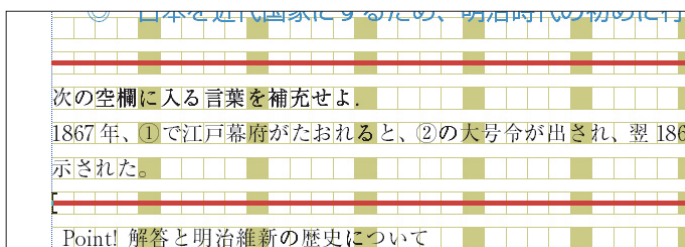
ステップ②……………P.5



- 3 マウスでレイアウト画面をクリックするか、【Ctrl+E】でレイアウト画面に切り替え、体裁を確認します。



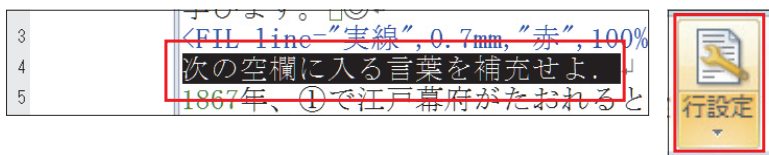
- 4 問題文終了の後（6段落目）にも同様にフィルルーチンを挿入します。



4 MCL コマンド、行設定

問題本文の体裁を作成する

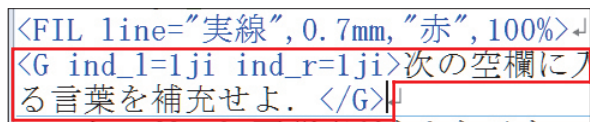
- 1 問題部分の本文に1字下げのインデントを設定します。4段落目の段落全体を選択した状態で、【エディタ】タブ→【標準コマンド】→【行設定】をクリックします。



- 2 以下のように設定して【OK】をクリックします。行設定のコマンドタグが挿入されます。



インデント
左/上、右/下 1ji



入力した MCL コマンドの再編集はタブ内にカーソルを置き、マウスを右クリックし、【MCL コマンド設定】を選択するか、【Ctrl+M】で行います。



エディタとレイアウト画面の切り替えは、各々のエリアをマウスでクリックするか、キーボードの【Ctrl+E】で行います。【Ctrl+E】を使用すると、カーソルを置いている位置を基準に表示が切り替わります。



直前に使用した MCL コマンドは【エディタ】タブ→【標準コマンド】→【ループ入力】、または【Ctrl+B】で入力できます。

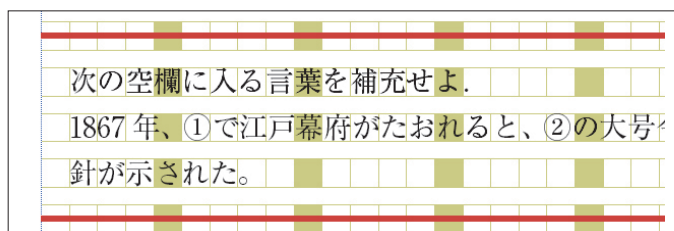


MCL コマンドを一括で削除するには、タブ内にカーソルを置くかタブを含めてテキストを選択した状態で、【Ctrl+Shift+B】を押します。その他、【Delete】や【BackSpace】により、文字単位で削除することが可能です。



【文字設定】、【行設定】は終了タグの</J>、</G>を省略できます。省略した場合には段落終了までが適用範囲となります。

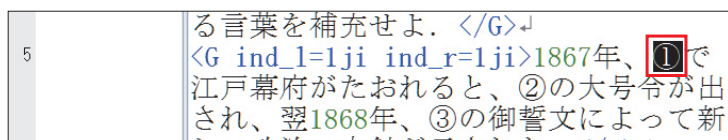
- 3 マウスでレイアウト画面をクリックするか、【Ctrl+E】でレイアウト画面に切り替え、体裁を確認します。続けて5段落目も同様の字下げを行います。



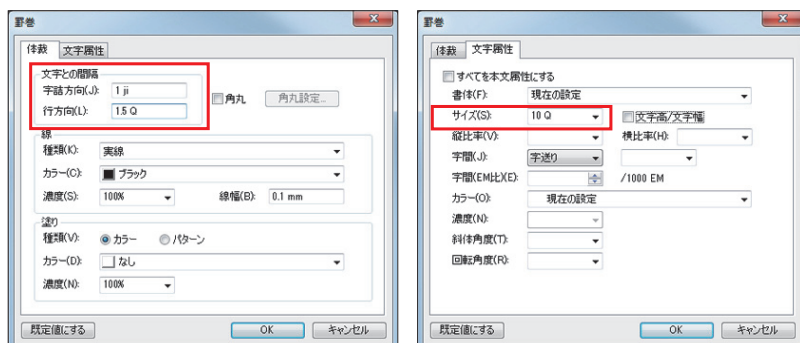
5 MCL コマンド、罫巻の設定

穴埋め問題部分を作成する

- 1 問題部分の穴埋め個所に罫巻コマンドを設定します。5段落目にある『①』を選択した状態で、【エディタ】タブ→【標準コマンド】→【罫線】→【罫巻】をクリックします。



- 2 以下のように設定して【OK】をクリックします。罫巻のコマンドタグが挿入されます。

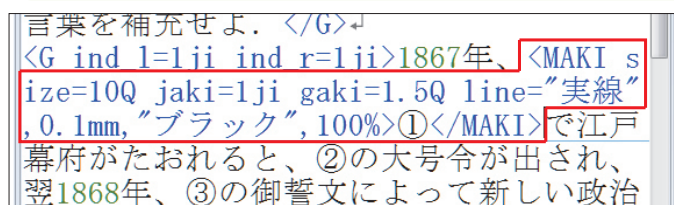


文字との間隔

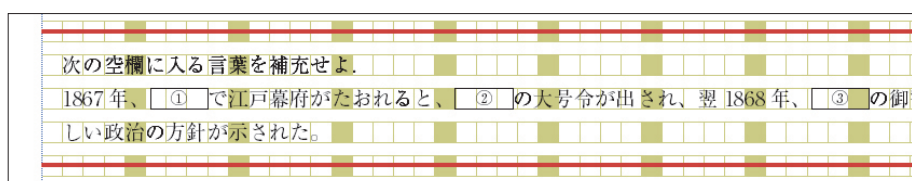
字詰方向 1ji 行方向 1.5Q

文字属性

サイズ 10Q



- 3 マウスでレイアウト画面をクリックするか、【Ctrl+E】でレイアウト画面に切り替え、体裁を確認します。続けて、後の『②』、『③』も同様に罫巻を設定します。



エディタ内でマウスを右クリック、もしくは【Ctrl + M】で【MCL コマンド設定】からコマンドを選択する方法もあります。



【罫巻】は選択した文字に対して罫で囲んだり、塗りを設定できます。左記の様に穴埋めに使用したり、文字にマーカー付けをしたような体裁を作成することができます。




【罫巻】は行をまたいで設定することはできません。行をまたぐ罫巻を作成する場合には【アンダーライン】の罫巻を使用してください。

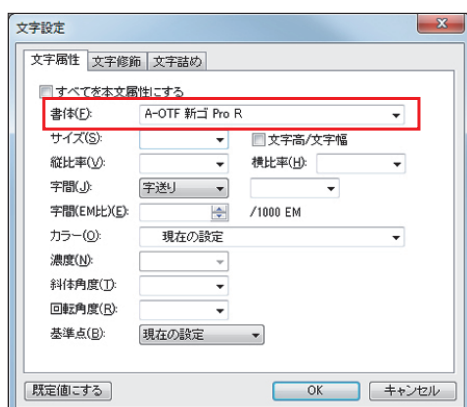
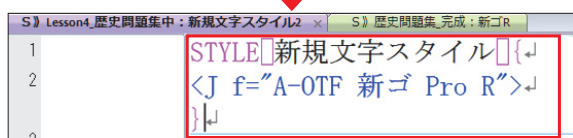
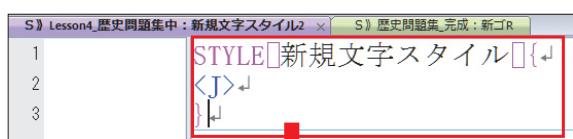
Step2 ポイント部分の作成

Step2 ではポイント部分の作成をします。MCL コマンドをスタイル登録する文字スタイルや相対野コマンドを使った囲み野、本文に画像などのオブジェクトを挿入するレイアウトインラインを学びます。


1 文字スタイルの設定

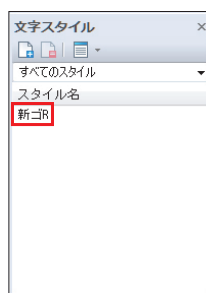
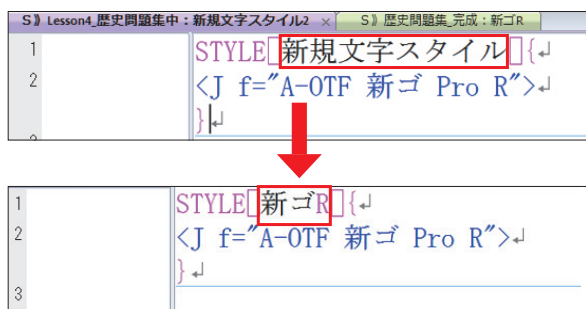
文字スタイルを使用してポイント部分の見出しの文字設定を行う

- 1 エディタで【エディタ】タブ→【表示】→【パレット】→【文字スタイル】をクリックし、【文字スタイル】パレットの  をクリックします。エディタが下図のように表示されたら、2 段落目の『<J>』を削除し、【エディタ】タブ→【標準コマンド】→【文字設定】をクリックし、以下のように設定して、【OK】をクリックします。



書体 A-OTF 新ゴ Pro R

- 2 1 段落目の『新規文字スタイル』に『新ゴR』とスタイル名を上書き入力します。
 をクリック後、【はい】をクリックし、文字スタイルとして保存します。【文字スタイル】パレットにスタイルが追加されます。



【文字スタイル】は以下のMCLコマンドを登録してスタイル化することができます。

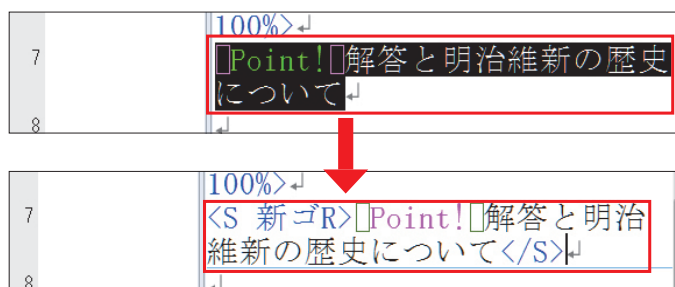
○登録可能なコマンド

文字設定、行設定、インデックス、アンダーライン、縦中横、野巻、割注、割り込み枠、繰り返しなどの多い体裁に便利な機能です。

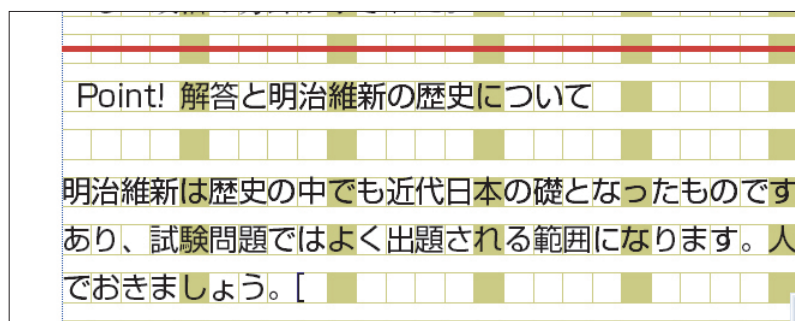


エディタ内でマウスを右クリックし、【MCL コマンド設定】からコマンドを選択する方法もあります。

- 3 作成した文字スタイルを設定します。7段落目にある見出し文『□Point!□解答と明治維新の歴史について』を選択した状態で、【文字スタイル】パレットの【新ゴR】をダブルクリックし、文字スタイルを適用します。



- 4 マウスでレイアウト画面をクリックするか、【Ctrl+E】でレイアウト画面に切り替え、体裁を確認します。続けて、9段落目にあるポイント本文も同様に文字スタイルを適用します。



2 レイアウトインラインの設定

見出し先頭に飾り画像を指定する

- 1 レイアウト画面で下記の設定で飾り画像を作成します。



画像ボックスサイズ

幅 8.5mm

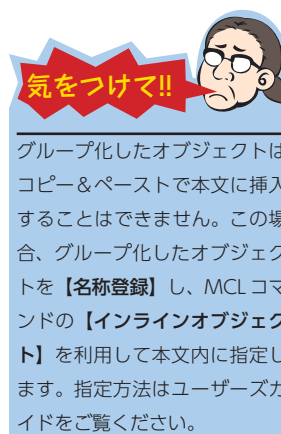
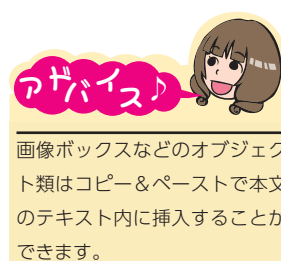
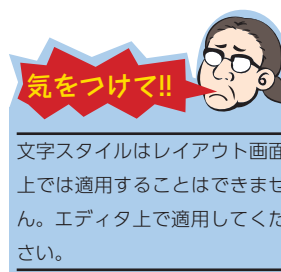
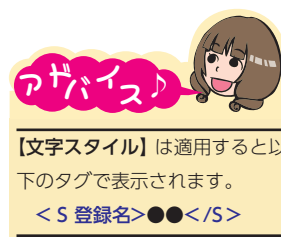
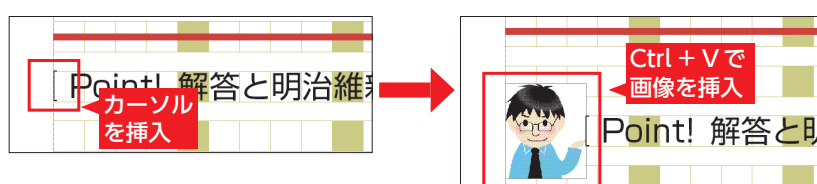
高さ 10mm


画像ファイル

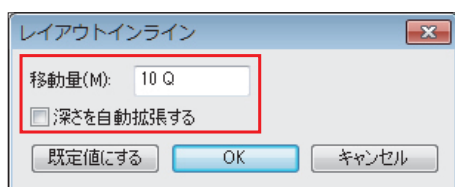
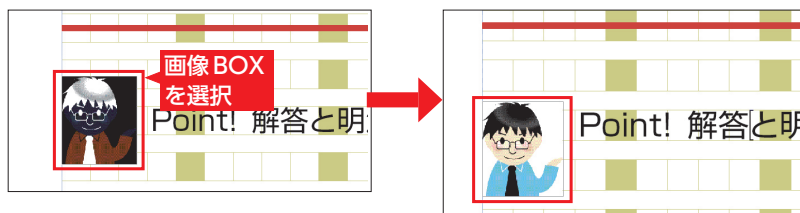
画像名 Lesson4 ￥画像￥先生.eps

画像編集 等比率小さい

- 2 レイアウト画面で作成した画像ボックスを【Ctrl+X】で切り取り、見出しの先頭にカーソルを挿入して、【Ctrl+V】で画像ボックスを本文内に貼り付けます。



- 3 挿入した画像ボックスの位置を調整します。見出し本文の中にカーソルを挿入し、画像ボックスを選択した状態で、【ホーム】タブ→【文字】の  をクリックして以下のように設定して【OK】をクリックします。



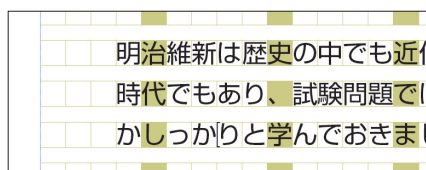
移動量 10Q

☒ 深さを自動拡張する

3 相対罫コマンドの設定

ポイント本文にインデントを設定する

- 1 下記の設定でポイント本文にインデントを設定します。

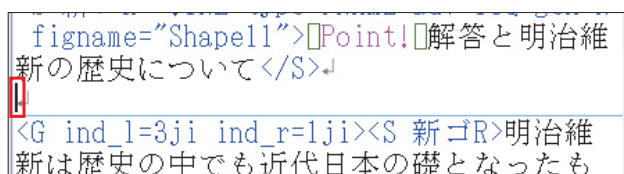


インデント

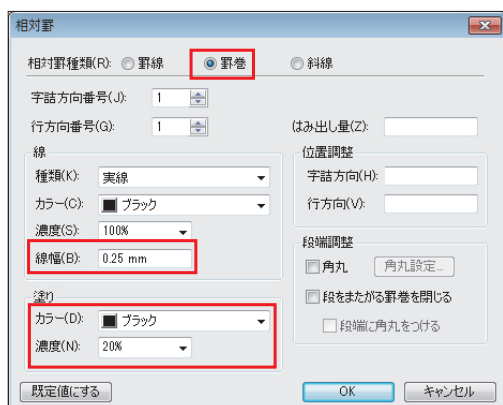
左/上 3ji 右/下 1ji

ポイント本文に相対罫で囲み罫を設定する

- 2 エディタでポイント本文の前段落にカーソルを挿入します。



- 3 【エディタ】タブ→【標準コマンド】→【罫線】→【相対罫】を選択し、以下のように設定して、【OK】をクリックします。相対罫のコマンドタグが挿入されます。



相対罫種類 罫巻

線幅 0.25mm

塗り ブラック 20%



コピー＆ペーストで本文に挿入したオブジェクトは【レイアウトインライン】にて位置を調整することが可能です。また、【深さを自動拡張する】にチェックを入れるとオブジェクトのサイズに合わせて、自動的に行取数が増えます。



【相対罫】は罫の開始コマンドと終了コマンドを指定することによりサイズが可変する罫線、囲み罫線、斜線を作成することができます。相対罫は段やページをまたぐことも可能です。



開始コマンドの字詰/行方向番号で相対罫開始位置を番号で記憶することができます。記憶させた相対罫は終了コマンドで番号を指定することで終了できます。

```

治維新の歴史について</S>
<RMAKI hno=1 vno=1 line="実線",0.25mm,"ブラック",100% kcolor="ブラック",20%>
<G ind_l=3ji ind_r=1ji>
<S 新ゴR>明治維新は歴史の中でも近代日本の礎と

```

- 4 字詰方向への相対罫終了コマンドを追加します。エディタで相対罫のコマンドタグの直後にカーソルが挿入された状態で、【エディタ】タブ→【標準コマンド】→【罫線】→【相対罫終了】を選択し、以下のように設定し、【OK】をクリックします。相対罫終了のコマンドタグが以下のように挿入されます。

方向 ☒ 字詰方向
位置調整 50ji

```

<RMAKI hno=1 vno=1 line="実線",0.25mm,"ブラック",100% kcolor="ブラック",20%>
<RJEND hno=1 jpos=50ji>
<G ind_l=3ji ind_r=1ji><S 新

```

- 5 行方向への相対罫終了コマンドを追加します。エディタでポイント本文が終わった次の段落にカーソルを挿入します。

```

ような改革がされたのかしっかりと学んでおきましょう。</S>
</G>
[様々な改革]

```

- 6 【エディタ】タブ→【標準コマンド】→【罫線】→【相対罫終了】を選択し、以下のように設定し、【OK】をクリックします。相対罫終了のコマンドタグが挿入されます。

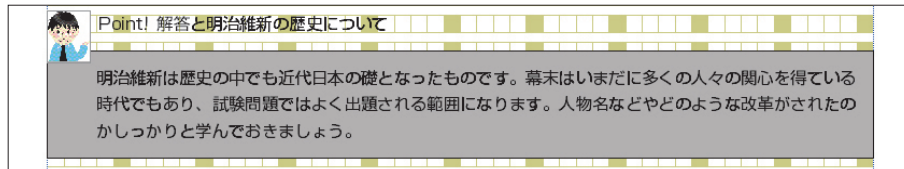
方向 ☒ 行方向

```

ような改革がされたのかしっか
りと学んでおきましょう。</S>
</G>
<RGEND vno=1>
[様々な改革]

```

- 7 マウスでレイアウト画面をクリックするか、【Ctrl + E】でレイアウト画面に切り替え、体裁を確認します。

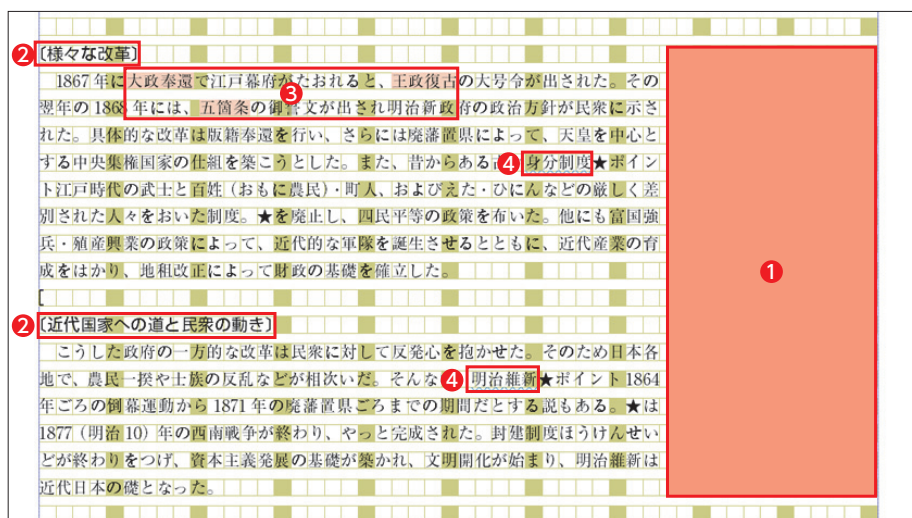


Step3 解説部分の作成

Step3 では解説部分の作成をします。今まで使った MCL コマンドを使用して、体裁を整え、さらに割り込み枠コマンドを使用して傍注の体裁を作成します。

1 事前準備

- 1 解説部分を以下の順番で MCL コマンド、文字スタイルを設定しておきます。

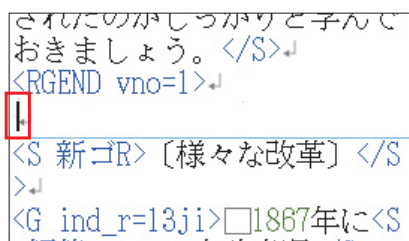


- ①行設定 右/下インデント 13ji
- ②見出し部分 文字スタイル「新ゴR」適用 (2か所)
- ③罫巻 塗り 赤 20% (3か所)
- ④アンダーライン
線の種類 文字 ブル野 カラー シアン 100% (2か所)

2 縦罫線の設定

解説部分の行末に相対罫コマンドの縦罫線を追加する。

- 1 エディタで解説本文の前段落にカーソルを挿入します。



- 2 【エディタ】タブ→【標準コマンド】→【罫線】→【相対罫】を選択し、以下のように設定し、【OK】をクリックします。相対罫のコマンドタグが挿入されます。

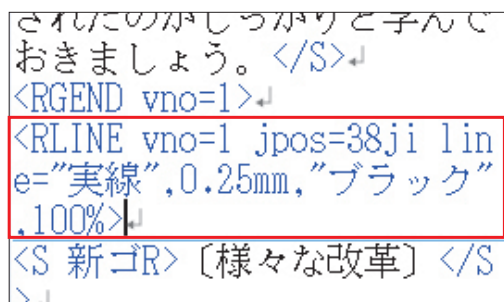
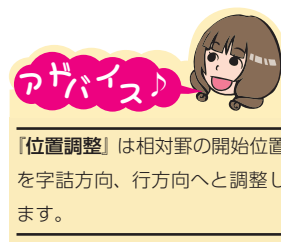


相対罫種類 罫線

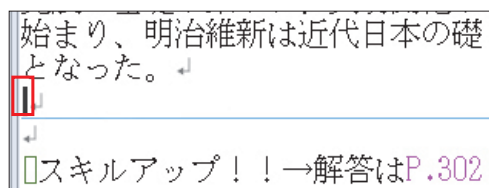
方向 行方向

線幅 0.25mm

位置調整 38ji



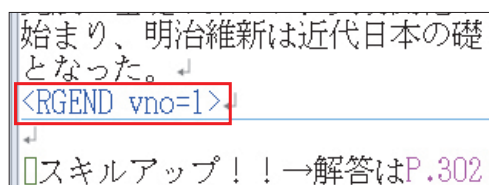
- 3 行方向への相対罫終了コマンドを追加します。解説本文が終わった次の段落にカーソルを置きます。



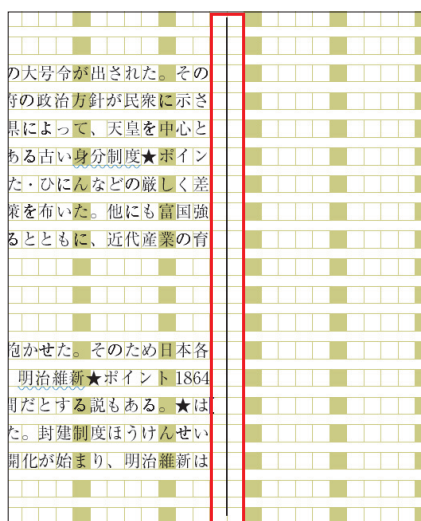
- 4 【エディタ】タブ→【標準コマンド】→【罫線】→【相対罫終了】を選択し、以下のよう
に設定し、【OK】をクリックします。相対罫終了コマンドのタグが挿入されます。



方向 ● 行方向



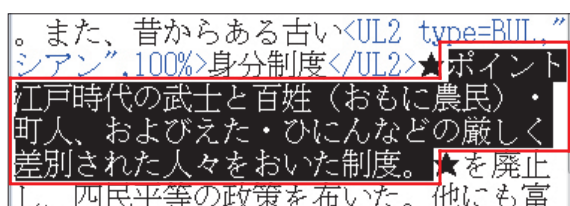
- 5 マウスでレイアウト画面をクリックするか、【Ctrl + E】でレイアウト画面に切り替え、体裁結果を確認します。



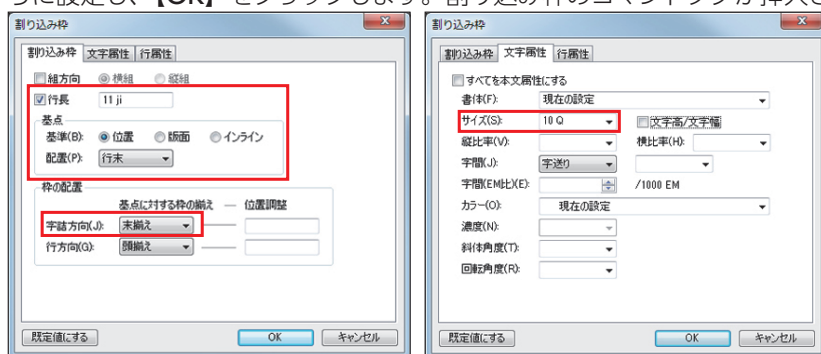
3 割り込み枠の設定

割り込み枠コマンドで傍注を作成する

- 1 解説文内にある注の内容（★～★で囲まれている箇所）を割り込み枠コマンドを使用して、解説本文の右側に設定し、傍注にします。エディタで、★で囲まれている文章を選択します。



- 2 【エディタ】タブ→【標準コマンド】→【書式】→【割り込み枠】を選択し、以下のよう設定し、【OK】をクリックします。割り込み枠のコマンドタグが挿入されます。



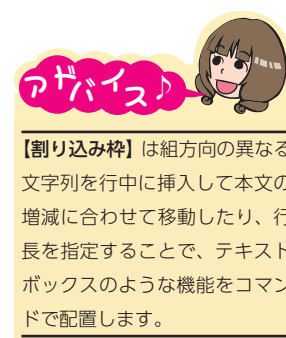
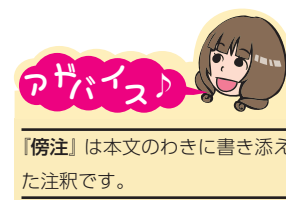
割り込み枠タブ

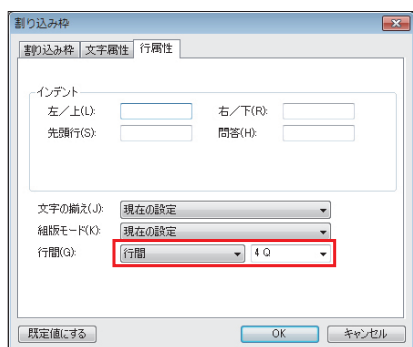
組方向 ☒ 横組
 縦長 11ji
 基点・基準 位置 配置 行末
 枠の配置・字詰方向 未揃え

文字属性タブ

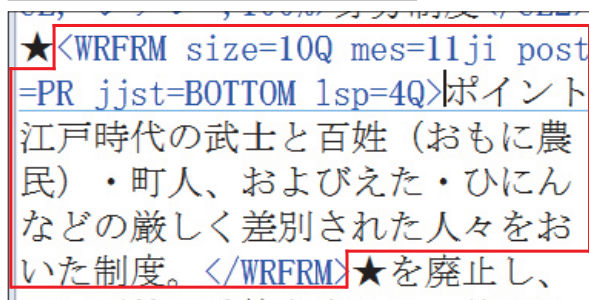
サイズ 10Q

※設定は次のページに続きます。

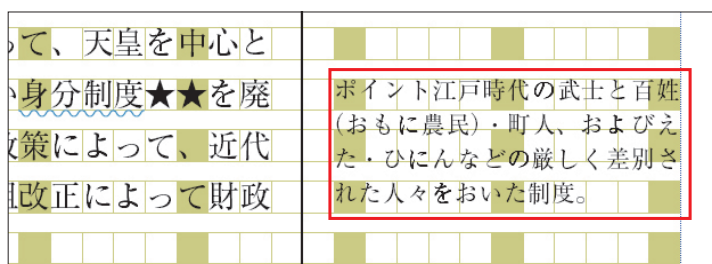




行属性タブ
行間 行間 4Q



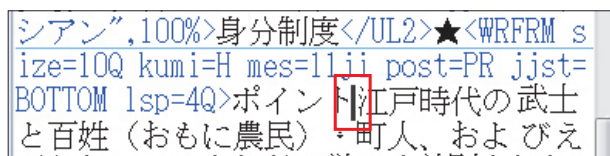
- 3 マウスでレイアウト画面をクリックするか、【Ctrl+E】でレイアウト画面に切り替え、体裁を確認します。



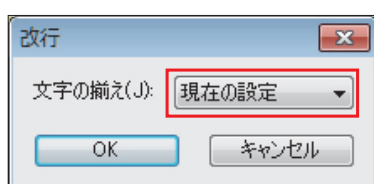
4 改行の設定

割り込み枠内に改行を追加する

- 1 エディタで割り込み枠を設定した注の内容の先頭にある『ポイント』の後にカーソルを挿入します。



- 2 【エディタ】タブ→【標準コマンド】→【改行】をクリックし、以下のように設定し、【OK】をクリックします。改行コマンドのタグが挿入されます。



文字の揃え 現在の設定



【改行】は段落の途中で改行する場合などに使用します。改行直前の行の揃えを設定することも可能です。



【文字の揃え】は行先頭から改行コマンドまでの文字列に対して揃えを設定できます。【現在の設定】を選択すると、段落で設定している揃えと同じ揃えになります。

シアン",100%>身分制度</UL2>★<WRFRM size=10Q kumi=H mes=11ji post=PR jjst=BOTTOM lsp=4Q>ポイント<KG>江戸時代の武士と百姓（おもに農民）・町人、およ

- 3 マウスでレイアウト画面をクリックするか、【Ctrl+E】でレイアウト画面に切り替え、体裁を確認します。

って、大皇を中心と	
身分制度★★を廃	ポイント
政策によって、近代	江戸時代の武士と百姓（おもに
改正によって財政	農民）・町人、およびえた・ひに
	んなどの厳しく差別された人々
	をおいた制度。

注の体裁を整える

- 4 以下のようにして注の体裁を整えます。

って、大皇を中心と	
① 身分制度を廃止し、	② ポイント
によって、近代的な軍	江戸時代の武士と百姓（おもに
によって財政の基礎	農民）・町人、およびえた・ひに
	んなどの厳しく差別された人々
	をおいた制度。

①★の削除 ②「ポイント」部分 文字スタイル「新ゴR」適用

- 5 解説文後方にある『明治維新』の語句にも同様に傍注の体裁にします。

抱かせた。そのため日本各	
、明治維新は1877(明治10)	ポイント
もうけんせいどが終わりをつ	1864年ごろの倒幕運動から
明治維新は近代日本の礎と	1871年の廃藩置県ごろまでの期
	間だとする説もある。

5 割注の挿入

割注文を作成する

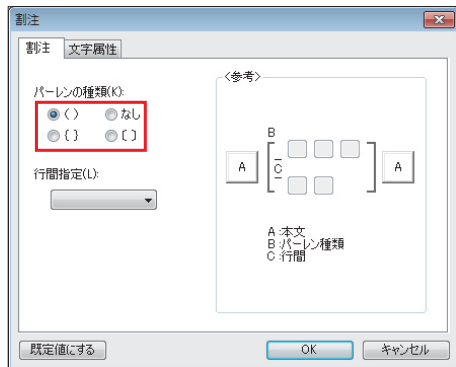
- 1 解説文後方にある『封建制度』のよみに対して、割注を指定します。エディタで『ほうけんせいど』の文字列を選択します。

もある。</WRFRM>は1877(明治10)年の西南戦争が終わり、やっと完成された。封建制度ほうけんせいどが終わりをつげ、資本主義発展の基礎が築かれ、文明開

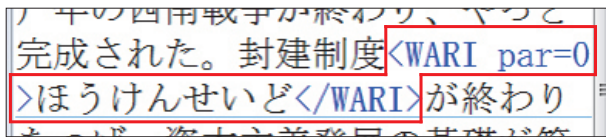
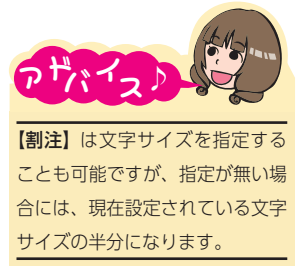


左記の処理はエディタで行ってください。レイアウト画面にて文字を削除すると、付近に指定されているMCLコマンドも含めて削除されてしまう可能性があります。また、文字スタイルはレイアウト画面では適用できないため、エディタで行う必要があります。

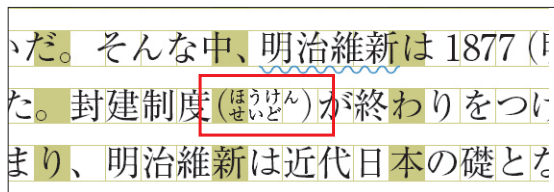
- 2 【エディタ】タブ→【標準コマンド】→【書式】→【割注】をクリックし、以下のよう
に設定し、【OK】をクリックします。割注コマンドのタグが挿入されます。



パーレンの種類 ☒ ()



- 3 マウスでレイアウト画面をクリックするか、【Ctrl+E】でレイアウト画面に切り替え、
体裁を確認します。



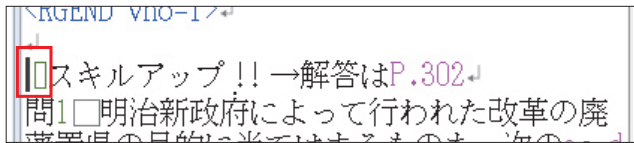
Step4 スキルアップ問題部分の作成

Step4 ではスキルアップ問題部分の作成をします。エディタで設定するインラインオブジェクト、字取り、複数行に分ける振り分けコマンドを学びます。

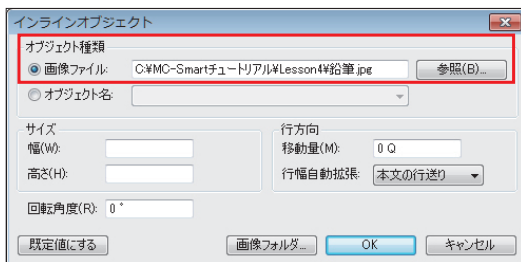
1 インラインオブジェクトの設定

見出し前に画像を挿入する

- 1 エディタでスキルアップ問題部分の見出し『□スキルアップ!!→解答はP.302』の前にカーソルを挿入します。



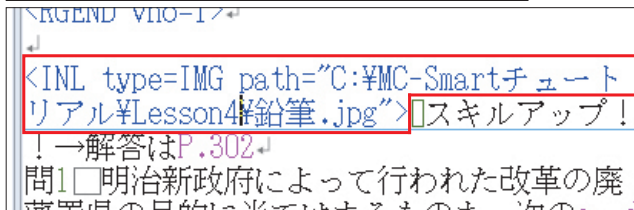
- 2 【エディタ】タブ→【標準コマンド】→【インライン】をクリックし、以下のように設定し、【OK】をクリックします。インラインオブジェクトコマンドのタグが挿入されます。



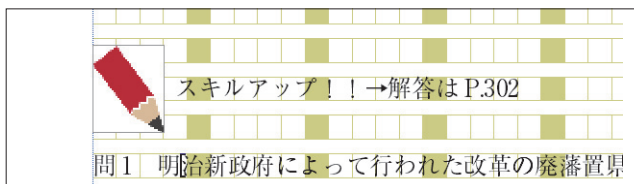
オブジェクト種類

- 画像ファイル

Lesson4 ¥画像¥鉛筆.jpg



- 3 マウスでレイアウト画面をクリックするか、【Ctrl+E】でレイアウト画面に切り替え、体裁を確認します。



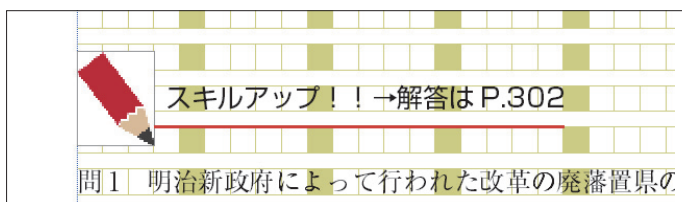
【インラインオブジェクト】は Step2 で使用したレイアウトインラインと同様に図形や画像を本文に指定する機能です。レイアウトインラインと異なる点は、指定した画像のパスをタグ内に表示したり、名称登録をしたオブジェクトを指定できる点になります。

※オブジェクトの名称登録についてはユーザーズガイドをご覧ください。

2 フィルルーションの設定

見出しの体裁を整える

- 1 以下のように、MCL コマンドを使用して見出しの体裁を整えます。



「スキルアップ!!」部分

書体 文字スタイル「新ゴR」適用

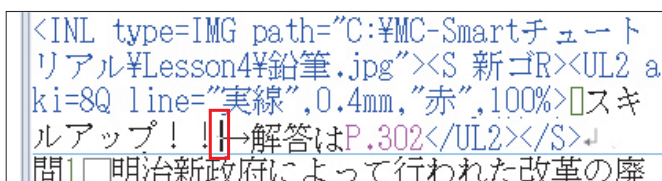
アンダーライン

☒ 文字と罫との間隔 8Q

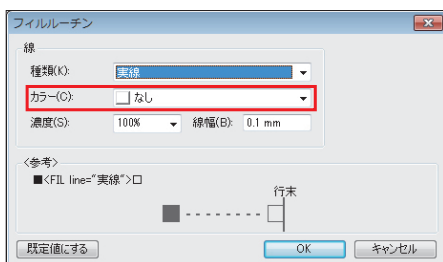
罫 カラー 赤 太さ 0.4mm

フィルルーションコマンドの挿入

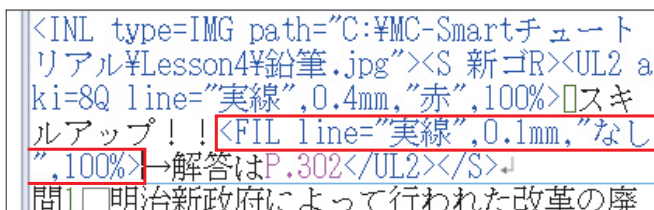
- 2 見出し部分の『→ 解答は P.302』を行末に揃えます。エディタでスキルアップ問題部分の見出し『→ 解答は P.302』の前にカーソルを挿入します。



- 3 【エディタ】タブ→【標準コマンド】→【書式】→【フィルルーション】をクリックし、以下のように設定し、【OK】をクリックします。フィルルーションのコマンドタグが挿入されます。



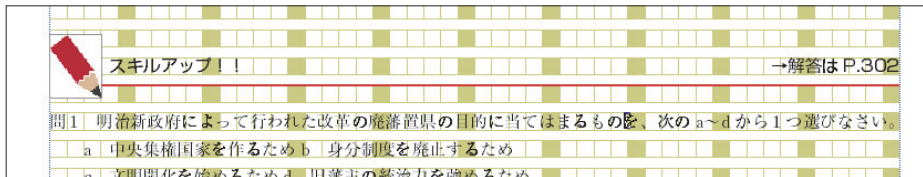
カラー なし



- 4 マウスでレイアウト画面をクリックするか、【Ctrl + E】でレイアウト画面に切り替え、体裁を確認します。



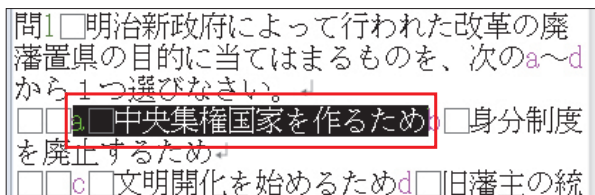
【フィルルーション】は左記のように罫の色をなしにして、文中の文字列を行末に揃えるなどの目的にも使用できます。



3 振り分けコマンドの設定

振り分けコマンドで字取りをする

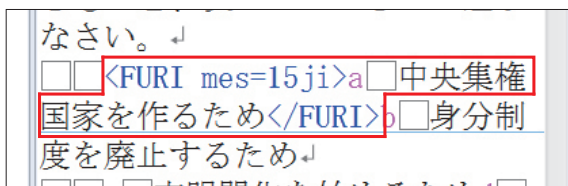
- 1 スキルアップ本文にある問1の回答を振り分けコマンドを使用し、字取りをして体裁を整えます。エディタで『a□中央集権国家を作るため』を選択します。



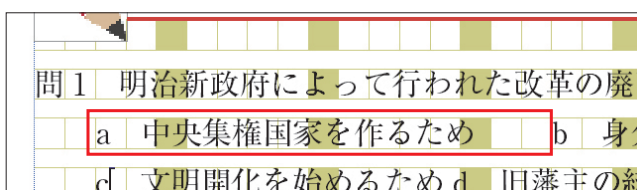
- 2 【エディタ】タブ→【標準コマンド】→【書式】→【振り分け】をクリックし、以下のよう
に設定し、【OK】をクリックします。振り分けコマンドのタグが以下のように挿入さ
れます。



行長 15ji



- 3 マウスでレイアウト画面をクリックするか、【Ctrl + E】でレイアウト画面に切り替え、
体裁を確認します。



アザバイス♪

【振り分け】は段落内で個別の行長指定や複数行の組版ができます。

例) 振り分け設定

求む!!

アルバイト	募集中!!
パート	
正社員	

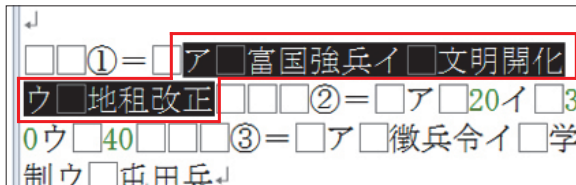
行長

- 4 他の回答文『b□身分〜』『c□文明〜』『d□旧藩主〜』も同様に振り分けコマンドを使用し、字取りをして体裁を整えます。

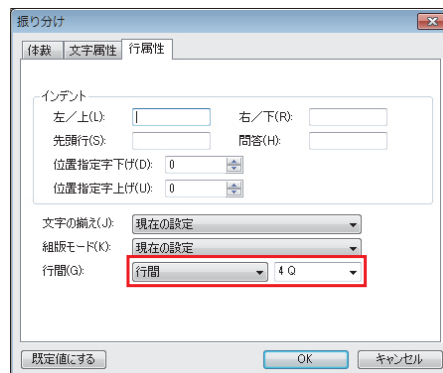
問1	明治新政府によって行われた改革の廃藩置県の目的に当てはまるもの			
a	中央集権国家を作るため	b	身分制度を廃止するため	
c	文明開化を始めるため	d	旧藩主の統治力を強めるため	

振り分けコマンドで三行にわせる

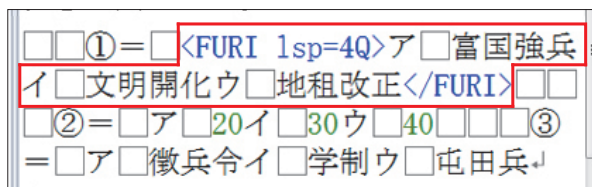
- 5 スキルアップ本文にある問2の回答を振り分けコマンドを使用し、三行にわけて体裁を整えます。エディタで『ア□富国強兵イ□文明開化ウ□地租改正』を選択します。



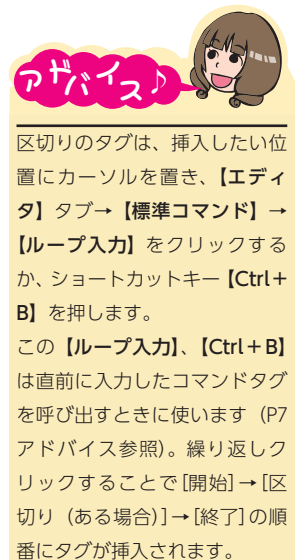
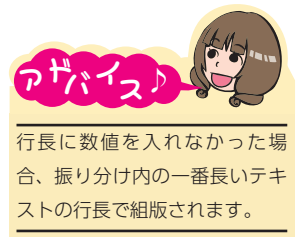
- 6 【エディタ】タブ→【標準コマンド】→【書式】→【振り分け】をクリックし、以下のよう設定し、【OK】をクリックします。振り分けコマンドのタブが挿入されます。



体裁タブ 行属性タブ
行長 なし 行間 行間 4 Q



- 7 振り分けコマンドを設定した文章内に区切りのタグを追加します。『イ□文明開化』の前にカーソルを挿入し、【エディタ】タブ→【標準コマンド】→【ループ入力】を押します。以下のように区切りのタグが挿入されます。



□□①=□<FURI 1sp=4Q>ア□富国強兵
 □イ□文明開化ウ□地租改正</FURI>□□
 「ループ入力」で区切りタグを挿入 20イ□30ウ□40□□③
 兵令イ□学制ウ□屯田兵

□□①=□<FURI 1sp=4Q>ア□富国強兵
 <FURI2>イ□文明開化ウ□地租改正</FU
 RI>□□②=□ア□20イ□30ウ□40□
 □□③=□ア□徴兵令イ□学制ウ□屯

- 8 『ウ 地租改正』の前にも区切りのタグを挿入します。7で挿入された振り分けの区切りタグ『<FURI2>』を【Ctrl+C】でコピーし、『ウ□地租改正』の前にカーソルを挿入し、【Ctrl+V】で区切りのタグを貼り付けます。

□□①=□<FURI 1sp=4Q>ア□富国強
 <FURI2>イ□文明開化ウ□地租改正</
 「Ctrl+C」で区切りタグをコピー ②=□ア□20イ□30ウ□40
 ア□徴兵令イ□学制ウ□

□□①=□<FURI 1sp=4Q>ア□富国強
 <FURI2>イ□文明開化<FURI2>ウ□地租
 改正</FURI>□□②=□ア□20イ□30ウ□40イ□
 「Ctrl+V」で区切りタグを貼り付け ウ□40□□③=□ア□徴兵令イ□学制ウ□

- 9 マウスでレイアウト画面をクリックするか、【Ctrl+E】でレイアウト画面に切り替え、体裁を確認します。

軍備を強化する政策を①といい、②歳以
ア 富国強兵
①= イ 文明開化 ②= ア 2
ウ 地租改正

- 10 他の回答文『②=～』『③=～』も同様に振り分けコマンドを使用し、三行にわけて体裁を整えます。

軍備を強化する政策を①といい、②歳以上の男子に兵役の義務を負わ
ア 富国強兵 ア 20 ア 徴兵令
①= イ 文明開化 ②= イ 30 ③= イ 学制
ウ 地租改正 ウ 40 ウ 屯田兵

4 行アキコマンドの設定

行アキコマンドでスキルアップ部分を段末に揃える

- 1 行アキコマンドを挿入して、スキルアップ部分を段末に揃えます。エディタでスキルアップ部分の見出しの前の段落にカーソルを挿入します。

```

が始まり、明治維新は近代日本の礎とな
った。↓
<RGEND vno=1>↓
<INL type=IMG path="C:\¥MC-Smartチュ
ートリアル¥Lesson4¥鉛筆.jpg"><S 新ゴ
R><UL2 aki=8Q line="実線",0.4mm,"赤"
,100%>□スキルアップ!!<FIL line="実
線",0.1mm,"なし",100%>→解答はP.302<

```

- 2 【エディタ】タブ→【標準コマンド】→【行アキ】をクリックし、リストから【行アキ】を選択します。行アキコマンドのタグが以下のように挿入されます。

```

が始まり、明治維新は近代日本の礎とな
った。↓
<RGEND vno=1>↓
<GYOAKI>↓
<INL type=IMG path="C:\¥MC-Smartチュ
ートリアル¥Lesson4¥鉛筆.jpg"><S 新ゴ
R><UL2 aki=8Q line="実線",0.4mm,"赤"
,100%>□スキルアップ!!<FIL line="実
線",0.1mm,"なし",100%>→解答はP.302<

```

- 3 マウスでレイアウト画面をクリックするか、【Ctrl+E】でレイアウト画面に切り替え、体裁を確認します。



【行アキ】はページ内の段末に余白が発生した場合、段組中の指定された行間に段末の余白を割り振り、段末に最終行がくるようにします。

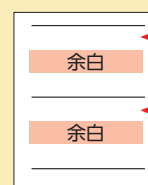
例) ページ内に余白あり



○行アキを1個設定



○行アキを2個設定




Step5 マクロスタイルの作成

Step5 ではここまでに設定した MCL コマンドの 1 つ 1 つをマクロスタイルに登録します。マクロスタイルは MCL コマンドの大半を登録できるため、コマンド入力の軽減やタブの省略化など、編集作業の効率化が図れます。マクロには引数機能があり、マクロに与える文字列情報を差し替えることによって、さらに編集しやすくなります。この Step ではマクロスタイルの作成方法を学びます。

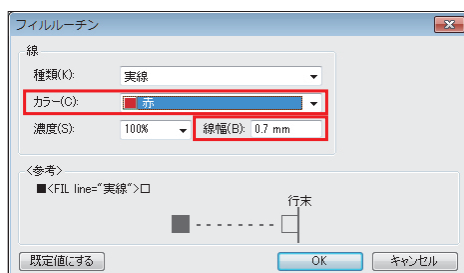
1 引数設定のないマクロスタイルの作成

Step1 の赤罫をマクロスタイルに登録する

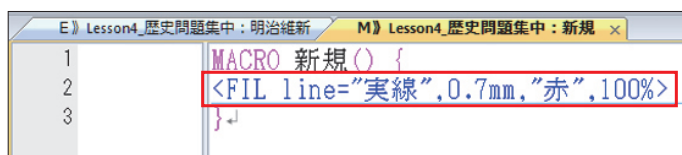
- Step1 で設定した赤罫のフィルルーチンをマクロスタイルに登録します。エディタで【エディタ】タブ→【表示】→【パレット】→【マクロスタイル】をクリックし、【マクロスタイル】パレットの  をクリックします。エディタが下図のように表示されたら、1 段落目の括弧内にある『引数="初期値"』と 2 段落目の『@引数;』を削除します。




- 2 段落目にカーソルを置き、【エディタ】タブ→【標準コマンド】→【書式】→【フィルルーチン】をクリックします。以下のように設定して【OK】をクリックします。フィルルーチンのコマンドタグが挿入されます。



種類 実線
カラー 赤
線幅 0.7mm



- 1 段落目の『新規』に『赤罫』とスタイル名を入力し、 をクリック後、【はい】をクリックしてマクロスタイルとして保存します。【マクロスタイル】パレットにスタイルが追加されます。

気をつけて!!

【マクロスタイル】は MCL コマンドの大半を登録することができますが、以下のコマンドは登録できません。

○登録不可コマンド

相対罫、行アキ、複行アキ
行アキ禁止

アドバイス

マクロスタイルの新規作成時には引数用の設定が自動的に用意されていますが、不要な場合は削除できます。

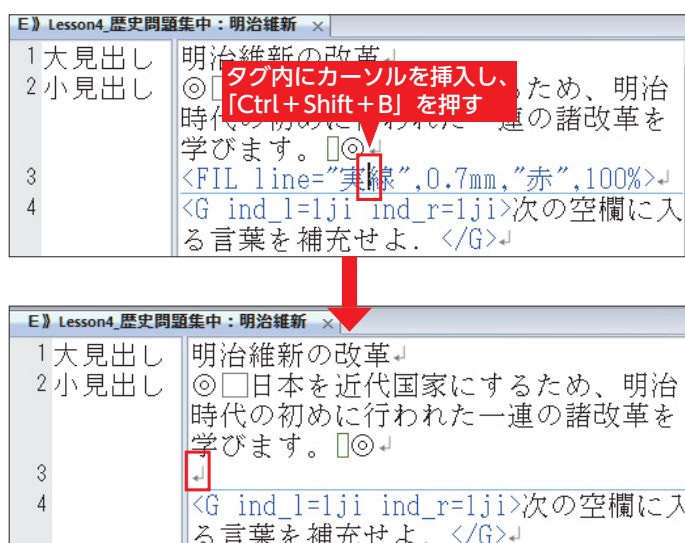
アドバイス

先に作成した【フィルルーチン】のタグをコピー＆ペーストして登録することもできます。

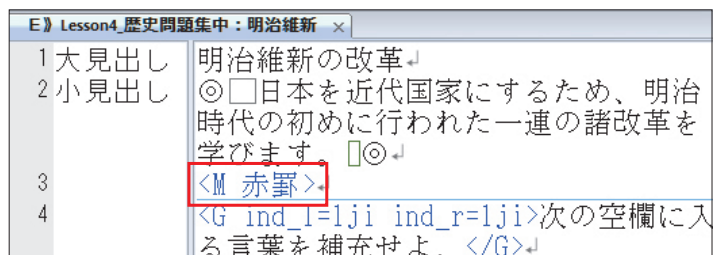


マクロスタイルを適用する

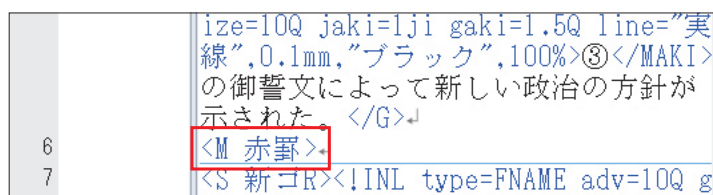
- 4 間赤罫部分の設定を作成したマクロスタイルに置き替えます。3段落目にあるフィルルーチンのタブの中にカーソルを挿入し、【Ctrl+Shift+B】を押し、タブを削除します。



- 5 タブを削除した位置にカーソルを挿入したまま、【マクロスタイル】パレットの【赤罫】をダブルクリックします。



- 6 同様に残りの6段落目に設定した赤罫部分もマクロスタイルに置き換えます。

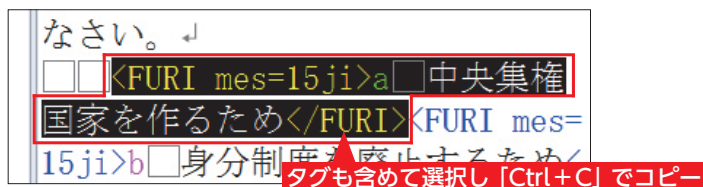



MCL コマンドを一括で削除するにはタブ内にカーソルを置るか、またはタブを含めてテキストを選択した状態で、【Ctrl + Shift + B】を押します。その他、【Delete】や【BackSpace】で一文字ずつ削除することも可能です。

2 引数設定のあるマクロスタイルの作成

Step4 で字取り設定した振り分けコマンドをマクロスタイルに登録する

- 1 Step4 で字取りの設定をした振り分けコマンドを引数設定を用いて、マクロスタイルに登録します。字取り設定をした『a□中央集権国家を作るため』部分を振り分けコマンドも含めて、【Ctrl+C】でコピーします。



- 2 エディタで【エディタ】タブ→【パレット】→【マクロスタイル】をクリックし、【マクロスタイル】パレットの  をクリックします。エディタが下図のように表示されたら、2段落目の『@引数;』の後ろに1でコピーした内容を【Ctrl+V】でペーストします。




- 3 『@引数;』を選択して、【Ctrl+X】で切り取り、振り分けの開始タグの後ろに【Ctrl+V】で貼り付けます。



- 4 1段落目にある括弧内の『初期値』を削除します。『a□中央集権国家を作るため』を選択して、【Ctrl+X】で切り取り、初期値の文字列があった『""]の中に【Ctrl+V】で貼り付けます。

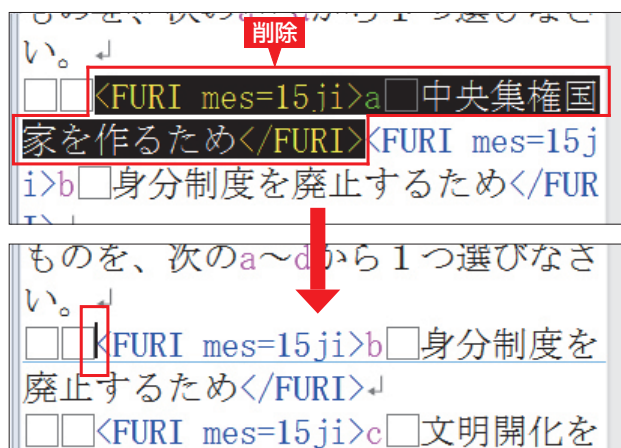


- 5 1段落目の『新規』に『字取』とスタイル名を入力し、 をクリック後、【はい】をクリックして、マクロスタイルとして保存します。【マクロスタイル】パレットにスタイルが追加されます。

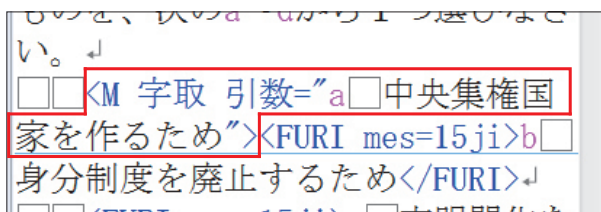


マクロスタイルを適用する

- 6 字取り部分の設定を作成したマクロスタイルに入れ替えます。振り分けコマンドを含めた『<FURI mes = 15ji>a□中央集権国家を作るため</FURI>』を選択して【Delete】で削除します。



- 7 削除した位置にカーソルを置いたまま、【マクロスタイル】パレットの【字取】をダブルクリックします。引数で指定している文字列が字取りされます。



マクロスタイルの引数について

マクロスタイルの引数を使うことで、任意の文字列にマクロ内に登録したMCLコマンドを適用することができます。引数の文字列を書き換えることで、意図する体裁パターンのまま文章だけを変更することができます。

○マクロ適用

<M スタイル名 引数="●●●">

○マクロ設定内容

適用後のタグ内に反映

MACRO スタイル名 (引数="●●●"){
 <タグ> @引数; </タグ>
 }

挿入

置換え

「引数」や「初期値」の文字列について

スタイル内で使用する「引数」や「初期値」の文字列は変更してもかまいません。その場合、引数に関しては、2箇所とも同じ文字列に変更してください。

MACRO スタイル名 (文字="モリサワ"){
 <タグ> @文字; </タグ>
 }

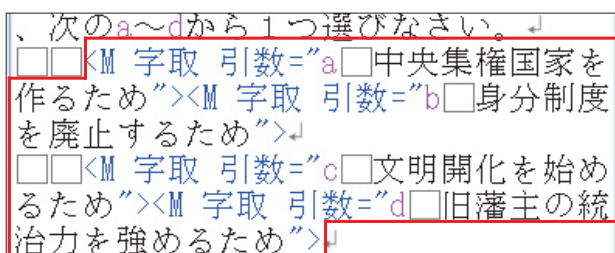
同じにする

引数の複数指定について

引数は複数設定可能です。その場合は、カッコ内を「,」で区切り、全ての引数の定義を入力してください。

MACRO スタイル名 (親文字="漢字",ルビ="かんじ"){
 <タグ> @親文字; <タグ> @ルビ; </タグ>
 }

- 8 同様に後ろにある『b身分～』『c文明～』『d旧藩主～』も作成したマクロスタイルに変更します。下図のようにマクロスタイル挿入後はタグ内の引数に字取りする文字列を忘れずにいれましょう。



以上で、Lesson4は終了です。

MC-Smart チュートリアルガイド

2016年5月10日 第6版

発 行 株式会社 モリサワ

本 社 大阪市浪速区敷津東2-6-25 〒556-0012
TEL (06)6649-2151

東 京 本 社 東京都新宿区下宮比町2-27 〒162-0822
TEL(03)3267-1231

本製品に関する情報は <http://www.morisawa.co.jp/>
